



TITLE:

表紙・執筆者紹介

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・執筆者紹介. 経済論叢 2008, 182(4)

ISSUE DATE:

2008-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/151296>

RIGHT:

經濟論叢

第182卷 第4号

中立国スイスの多国籍企業と
ナチズム・第二次大戦(2)……………黒澤隆文 1

査読付き論文

外国人株主と日本企業の従業員数の
相互関係の実証分析……………福田順 24

市場志向型コスト・マネジメントの展開……………吉川晃史 48

国際会計基準の正統性に関する一考察……………真田正次 69

「マルクス派最適成長論」における政府……………劉洋 95

平成20年10月

京都大學經濟學會

京都大学経済学会規則（沿革）

目的及び事業

第3条 本会は、経済学・経営学に関する研究・教育の振興と、その成果の普及を図り、京都大学大学院経済学研究科・経済学部的发展に寄与することを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 機関誌「経済論叢」を発行すること。「経済論叢」は毎月1回発行すること。ただし、臨時特別号を発行することがある。
2. 「経済学研究叢書」を発行すること。
3. 学術研究会を開催すること。
4. 公開講演会を開催すること。
5. その他本会の目的を達成するために必要な事業。

構成

第5条 本会は、次の会員をもって組織する。

1. 正会員

- (一) 京都大学大学院経済学研究科教授、助教授、講師、助手及び経済学部出身者。
- (二) 京都大学大学院経済学研究科学生及び同研究科出身者。
- (三) 評議員会にてとくに認めたもの。

2. 学生会員 京都大学経済学部学生。

3. 賛助会員 本会の事業を賛助するもの。

第6条 前条のほか所定の会費を納めて「経済論叢」の配布を受ける個人及び団体は購読会員とする。

第7条 特別の場合に限り、前2条に定められた会員以外のものにも会員に準ずる取扱いをすることができる。

第8条 会員には、「経済論叢」を配布する。ただし、臨時特別号はこの限りでない。

会費

第10条 会員は、次の会費を納めなければならない。

- | | | | |
|---------|--------------|---------|------------|
| 1. 正会員 | 年額 10,000円 | 2. 学生会員 | 年額 10,000円 |
| 3. 賛助会員 | 年額 10,000円以上 | 4. 購読会員 | 年額 10,000円 |

— 既 刊 目 次 —

第182巻 第3号

通貨統合の諸条件の比較分析(2).....宇 仁 宏 幸

査読付き論文

中国の輸出主導型成長と
東アジア諸国への連関効果分析(2).....蔵 成 男

環境リスクと組織の効率性に関する研究.....岩 田 裕 樹

製造業と非製造業における経営者予想の相違.....八 田 尚 也

最適課税論.....大 畑 智 史

「経済論叢」「調査と研究」執筆要領（抄）

2008.11.13 改正

京都大学経済学会編集委員会

1. 本学会の正会員および平成21年度以降入学の本学経済学研究科大学院生（出身者を含む）は投稿することができる。執筆者が2名以上の場合は、少なくとも1名は上記の要件を満たさなければならない。
2. 正会員以外の投稿論文の掲載料は30,000円とする。
3. 本学会評議員以外の投稿原稿については、レフェリー審査（レフェリーは2名）を行う。レフェリー審査に基づき編集委員会が掲載の可否（(a)そのまま掲載可、(b)改訂の上、掲載可、(c)改訂の上、再審査、(d)掲載拒否）を決定する。また、レフェリー審査を受けた論文については掲載時に「査読付き論文」である旨を明記する。
4. 「経済論叢」及び「調査と研究」に掲載された論文等の著作権は、経済学会に帰属する。したがって、他で当該論文等を使用する場合は、経済学会の許諾が必要になる。
5. 「経済論叢」及び「調査と研究」に掲載された論文等は、全文データベース化し、公開する。
6. 原稿は横書きとし、完全原稿であること。A4判横書き1ページ35字×30行で明瞭に印刷した原稿3部と、その電子ファイル1式（利用したOS名、ソフトウェア名を明記すること。図表も電子ファイル化すること）を、京都大学経済学会に送付すること。
7. 投稿原稿にはタイトルと氏名、英文タイトル、ローマ字表記氏名、所属、住所、電話番号、Eメールアドレスおよび指導教員がいる場合は指導教員名を記入した表紙を付けること。
8. 原稿の字数制限は下記のようにする。

「経済論叢」 論文・24,000字以内。
研究ノート・12,000字以内。
書評・8,000字以内。
図版および表は1枚400字に換算する。

「調査と研究」は論文、研究ノート、調査、サーベイ等全てを34,000字以内とする。
図版および表は1枚400字に換算する。
9. 論文の執筆には原則として現代かなづかい、常用漢字を用いること。

執筆者紹介 (掲載順)

黒澤隆文	京都大学大学院経済学研究科准教授
福田順	京都大学大学院経済学研究科学生
吉川晃史	京都大学大学院経済学研究科学生
真田正次	京都大学大学院経済学研究科学生
劉洋	京都大学大学院経済学研究科学生

会員各位へ 会費は下記あて御納入下さるようお願いいたします。

1. 会費納入先 京都市左京区吉田本町 京都大学経済学部内
京 都 大 学 経 済 学 会
振替口座01090-6-17219番

1. 会費年額 10,000円 (前納)
1. 会員各位の現住所、氏名、卒業年次、就職先を学会まで御通知下さい。
※ 会員外の雑誌購入は有斐閣へお申込み下さい。

平成20年9月25日印刷
平成20年10月1日発行

編集兼 発行人	京 都 大 学 経 済 学 会
印刷所	(株)富山房インターナショナル 東京都文京区千石2-25-11
発行所	京 都 大 学 経 済 学 会 606-8501 京 都 市 左 京 区 吉 田 本 町 振替口座01090-6-17219番
発売所	株式会社 有 斐 閣 101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 京都支店 606-8225 左京区田中門前町44

Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

Vol. 182, No. 4

October 2008

CONTENTS

- National Socialism, the Second World War
and Multinational Companies of Neutral Switzerland :
Georg Fischer AG, a Company Originated in a Cross-Border
Economic Region as a Case Study (2) *Takafumi KUROSAWA*
- The Empirical Analysis on the Interaction between
Foreign Shareholders and the Number of Japanese Firms *Jun FUKUDA*
- The Development of Market Driven Cost Management :
Reconsideration about Standard Cost Accounting *Kohji YOSHIKAWA*
- Legitimacy of International Accounting Standards :
A Critical Review of *Organizing International Standardization-ISO*
and the IASC in Quest of Authority
by Kristina Tamm Hallström *Masatsugu SANADA*
- Government in the Marxist Optimal Growth Model *Yang LIU*

Published

by

KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)